

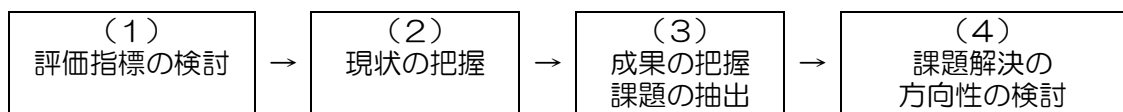
「中高一貫教育」の検証に関するこれまでの審議のまとめ
第 2 回県立高等学校将来構想審議会（第 3 期）への部会報告（案）

1. 検証の目的

- (1) 高校教育改革の成果等に関する検証は、高校教育改革を着実に推進し、その実効性を確保していくために、高校教育改革の各種施策・取組の進捗状況や成果・課題について、客観的かつ専門的な見地から明らかにするとともに、その結果を中長期的な計画の立案に反映させることを目的として実施する。
- (2) 併せて、検証のプロセスと結果を適時・的確に県民に情報提供し、高校教育改革に係る県民への説明責任を向上させていく。

2. 検証の進め方（フロー図）

- (1) 検証の項目や検証データ等の評価指標を検討する。
- (2) (1) に基づきデータを収集の上、現状を把握して、定量的・定性的に検証・評価する。
- (3) 高校教育改革の取組における成果・課題を抽出する。
- (4) 抽出した課題については、解決の方向性についても検討し、教育委員会への提言として取りまとめる。



3. これまでの検証内容について

- (1) 中高一貫教育の施策の概要（資料 4（別紙 1）のとおり）
- (2) 評価指標の検討（資料 4（別紙 2）のとおり）
- (3) 定量データの分析

主に次のデータについて、学校別に整理し、年次推移を確認するとともに、学年進行に伴う変化の特徴等について分析した。その概要は、（資料 1）のとおり。

県立中学校の出身小学校市町村別生徒数（中学校 1 年次）、県立中学校の出願倍率の推移、県立中学校の出願者男女比、県立中学校の生徒男女比、県立中学校卒業時の進路状況、連携中学校卒業生の志津川高校への進学率、志津川高校の連携中学校出身者割合、連携型入試出願倍率、連携型入試に係る男女比、中途退学率（高校）、不登校率（高校）、スクールカウンセラーへの相談件数（高校）、部活動の加入状況（高校）、学校評価、みやぎ学力状況調査（国数英）の結果（高校 2 年生）、みやぎ学力状況調査意識調査（高校 1～2 年生）、全国学力・学習状況調査（国数理）の結果（中学校 3 年生）、全国学力・学習状況調査意識調査（中学校 3 年生）、高校卒業後の進路の状況（高校 1～3 年生） 等

(4) 定性データの分析

中高一貫教育校において現地調査を実施（資料2のとおり）

(5) 成果の把握・課題の抽出（資料3のとおり）

【実施状況】

実施項目	実施内容	実施時期(部会)				
		第1回 H24.11	第2回 H25.1	第3回 H25.3	第4回 H25.6	(予定) 第5回 H25.10
(1) 評価指標の検討	目的や実施により期待された成果を整理するとともに、その達成状況を把握するための評価指標について検討する	●	●			
(2) 現状の把握	①「(1)評価指標」に基づき、必要なデータを特定する ②必要なデータが不足している場合は、調査内容・手法を設計し、調査を実施する ③収集・整理したデータを分析し、現状の把握を行う	●	●	●	●	●
(3) 成果の把握・課題の抽出	「(2)現状の把握」に基づき、施策の当初の目的や成果が達成されているか、課題が生じていないかについて確認する			●	●	●
(4) 課題解決の方向性の検討	課題が抽出された場合には、その解決の方向性について検討し、教育委員会への提言としてとりまとめる				●	●